



2月 保育所だより
令和2年度 久住保育所

今季は大寒波に見舞われました。積雪の日は子どもたちも大はしゃぎしました。まだまだ低温、乾燥状態が続き、感染症流行期にはいりますので引き続き手洗い等の徹底、食事、睡眠で生活リズムを整えていきたいものです。
早いもので今年度も2ヶ月あまりとなりました。子どもたちが進級や就学に向けて前向きな気持ちで取り組めるように職員一丸となって子どもに寄り添った保育に努めて参ります。
保護者の皆さまとも気持ちをひとつにしながら進めていきたいと思えます。気になることがありましたら、いつでもご相談ください。

- 保育目標
- 生活の流れに見通しを持ち、自分から意識して行動する。
 - 戸外で、冬の自然に親しみ、雪や氷に触れて積極的にあそぶ。

- <2月の行事予定>
- 2日(火) 節分 節分の会
入学説明会(久住小・都野小)
 - 4日(木) 入学説明会(白丹小・城原小)
 - 5日(金) 誕生会
 - 10日(水) 弁当の日 若竹会役員会
体験入学(都野小)
 - 16日(火) 入学説明会(菅生小)
 - 18日(木) 身体測定(全)
 - 24日(水) お別れ会 卒園写真撮影
 - 25日(木) 5歳児健診
 - 26日(金) 避難訓練
 - 27日(土) メンテナンス作業



天
まで
上
が
れ
!



- 2月のえほん
- うみのみちしるべ
 - カメとクロジャガー
 - いろいろ おせわになりました



3月13日(土)の卒園式についての詳細は別紙にて案内致します。

すごいぞ！大豆のチカラ

米とともに日本の食生活に欠かせないのが大豆。栄養豊富だけでなく、昔から魔よけの力があるとされ、節分には、災いや病を払う豆まきに炒った大豆を使います。新型コロナウイルスなどの感染症に打ち勝つ体力や免疫力をつけるためにも「畑の肉」といわれるほど栄養価が高く、様々な食品に加工されている大豆の力を活用しない手はありません。



大豆ってどんな食べもの？

煮豆、豆腐、納豆、きな粉、みそなど、様々な形で食卓に上る大豆。植物ながら、たんぱく質が豊富で、必須アミノ酸をはじめとする、人間の体をつくるために必要な20種類のアミノ酸のすべてを含んでいます。
たんぱく質は、体の成長や体力づくり、免疫力アップのために日々欠かせない栄養素。大豆のたんぱく質は様々な加工品からも取ることができ、消化吸収率がよいのも特徴です。また、大豆には、食物繊維やオリゴ糖などの機能性成分も多く含まれています。

2月はリクエストメニューが登場します！うめ組が保育所の給食を食べるのも残りわずかとなりました。一人ひとりお気に入りのメニューを聞き取りしています。24日のお別れ会を中心に日々の献立に盛り込んでいます。カレー、からあげ、かきたま汁、コーンスープ系こんたまご、ガトーショコラ……思い出の味を楽しみます。



子どもたちの苦手な食材の調理の工夫、年齢に応じた食べやすい味付け等「おいしく食べてもらいたい」この一心で、子どもたちに提供させていただいています。
園では食べものへの感謝、料理を作ってくれた人に感謝の気持ちをこめて「いただきます」「ごちそうさま」をきちんとできるようにしています。この二つのあいさつこそが子どもたちにいちばんに身につけてもらいたい食育の根本だと思います。



今年の節分は2月2日

124年ぶりの珍しさ
豆まきでおなじみの節分の日が今年例年より1日早い2月2日に。国立天文台は「地球が太陽の周りを回る公転の周期が、1年きっかりではないことが原因で微妙なずれが積み重なった結果」と説明。
節分は季節を分けるという意味があり、立春の前日にあたります。立春を含む二十四節気は、太陽と地球の位置関係から天文台が日付を割り出し毎年、公表しているとのこと。公転周期が365日ぴったりではないことが影響して、立春が例年の日付から前後することがあるようで、これに伴い節分の日も2月3日からずれるケースが出てくるそうです。

「登園届」と「意見書」について
保育所は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことで一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、登園のめやすを参考に、かかりつけ医の診断に従い、保護者が記入をして提出する「登園届」と子どもの症状が回復し、かかりつけ医により集団生活に支障がないと判断され登園を再開する際に提出する「意見書」があります。

※医師の診断に従い、保護者が登園届を記入することが考えられる感染症と医師が意見書を記入することが考えられる感染症については年度当初にお示ししました入園のしおりをご覧ください。不明な点がございましたら、お尋ねください。

